

エコパルなごや

冬号
Vol.85

かんきょうをたのしく学ぶ

とくしゅう
特集

じゅんかんがた 循環型社会について考える ~名古屋市の取り組み~

平成10年度まで名古屋市のごみ量は増え続け、年間100万トンに近づいていました。

焼却・埋め立ての処理能力の限界を迎えつつありました。

藤前干潟に新しい埋め立て処分場をつくる予定でしたが、そこは渡り鳥の重要な飛来地であったため、平成11年1月、藤前干潟の埋立計画の中止を決定しました。

この状況乗り越えるには、ごみ量を減らすしか方法がなくなりました。

そこで平成11年2月に「ごみ非常事態宣言」を発表して、「プラスチック製容器包装」、「紙製容器包装」の資源収集等いろいろな取り組みを市民・事業者・行政の協力のもとで実施しました。その結果、大幅なごみ減量が達成できました。

しかし、近年は資源分別率が低下し、ごみ処理量は横ばいの状況です。

そこで、さらなる取り組みの推進が必要となっています。

今回は、名古屋市が循環型社会の実現に向け、現在、行っている取り組みについて紹介します。



いろいろな話題をお届けします。

特集

じゅんかんがた 循環型社会について考える ~名古屋市の取り組み~

エコパル
NEWS

3館コラボ企画、マンスリー企画展示、休館のお知らせ、
なごや環境大学主催講座の紹介など

じゅんかんがた 名古屋市の循環型社会に向けた取り組み

1 広報・啓発

① なごやのごみ減量・資源化ガイド

資源・ごみの分け方・出し方だけでなく、3Rに取り組み意義や効果などを説明した「なごやのごみ減量・資源化ガイド」を作成し、平成29年10月号の広報なごやと同時に全戸配付しました。



② 資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

資源・ごみの分け方・出し方や収集日をスマートフォンでチェックできるようにアプリを配信しています。

「名古屋市さんあ〜る」で検索してください。



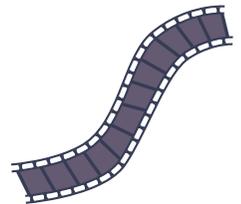
Android



iPhone

③ 冊子・広報映像

「ごみ減量に取り組む意義・メリット」を伝え、具体的な行動を促すため、啓発冊子の配布や映像の配信をしています。



2 容器包装の削減運動

① レジ袋有料化

レジ袋は石油からできています。レジ袋を減らせば天然資源を守ることになり、環境保護にもつながります。

本市では、平成13年5月に消費者団体・事業者団体・学識経験者・名古屋市で構成する「容器・包装3R推進協議会」を設置し、容器包装の発生を抑制する取り組みを始めました。

平成19年10月にレジ袋有料化に向けたモデル事業を緑区で実施し、平成21年4月には全市へ拡大しました。

平成29年6月より「2R推進実行委員会」へと名前を変えて引き続き取り組みを進めています。



② レジ袋有料化還元基金

「名古屋市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定」により、レジ袋有料化による収益金は「環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表」すると定められています。

「2R推進実行委員会」では、各社の収益金である「レジ袋有料化還元基金」により右記の取り組みを実施しました。

平成28年度の取り組み

- ・園庭の芝生化
- ・緑のカーテン事業
- ・給水機の設置補助



③ マイボトル・マイカップ運動

「2R推進実行委員会」ではマイボトル・マイカップを広める取り組みも行っています。

マイボトル・マイカップのメリットを市民に伝え、持ち歩くことが普段から行えるように右記の取り組みを実施しました。

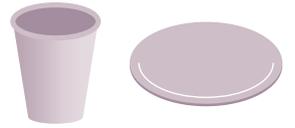
平成28年度の取り組み

- ・店舗での販売促進キャンペーン
- ・マイボトル・マイカップ対応の飲料サービス実施店舗の紹介
- ・無料給水スポットの設置・紹介

3 リユースの推進

① リユースカップ事業

イベントなどで使い捨て容器の使用を抑制するため、「リユースカップ」などのリターナブル食器の貸し出しを無料でを行っています。



② 粗大ごみの修理・展示販売

粗大ごみの中でも修理が容易な家具類を回収し、修理・展示販売を行うことにより、物を大切に長く使う意識の向上など、リユースの意識啓発を図っています。



さらに、壊れた家具などを市民が持ち込んで修理を行う「市民工房」を実施しました。家具の展示販売と「市民工房」は南リサイクルプラザで行っています。

③ 地域フリーマーケット開催助成

不用品の再使用を目的として自主的にフリーマーケットを開催する団体に対して、開催経費の一部を出しています。



4 古紙、衣類・布類のリサイクルの推進

① 集団資源回収・リサイクルステーション活動への支援

地域の集団資源回収活動の実態を把握し、一層の活性化を図るために、実施団体の登録を行い、事業協力金を支給するとともに集団資源回収に関する情報提供を行っています。

また、市民団体がスーパーの駐車場等を利用して行うリサイクルステーション活動に対しても事業協力金を支給しています。

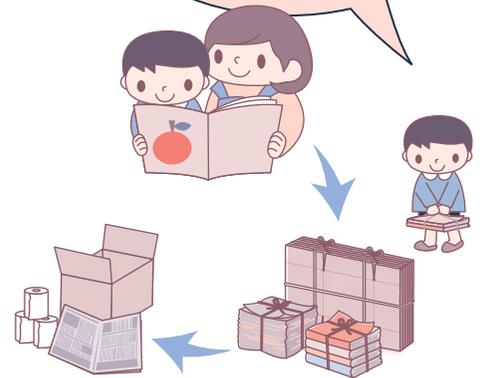


② 衣類・布類と雑がみ回収の促進

「衣類・布類」の資源分別率は1割程度にとどまっております。多くは可燃ごみとして捨てられています。そのほとんどがリサイクル可能なもので、中古衣料品等として利用することができます。

また可燃ごみの中には、リサイクルできる紙類が2割程度混ざっており、その中で一番多いのは「雑がみ」です。「雑がみ」とは新聞、雑誌、段ボール、紙パック、紙製容器包装以外の資源化可能な雑多な紙類のことで、段ボールの中芯の原料などとして利用することができます。

こうした「衣類・布類」「雑がみ」は集団資源回収やリサイクルステーションで回収を行っています。



5 生ごみの発生抑制と資源化

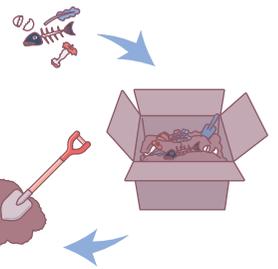
① 発生抑制

食べ残しなど、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスを減らすため、「3ない運動(買すぎない、作りすぎない、食べ残さない)」や、会食や宴会などで最初の30分と終了前の10分は料理を楽しみ、できるだけ食べ残しを減らす「30・10運動」などの啓発を行うほか、飲食店等を対象とした協力店登録制度やフードドライブを実施しています。

また、生ごみは、約80%が水分です。「ギュッと水切り・ひとしぼり」をすることで水分を減らすことができます。

② 家庭系生ごみの資源化

家庭や地域での自主的な生ごみたい肥化の取り組みを促進するため、生ごみ資源化の活動に取り組む団体に対する支援や、生ごみたい肥化講座の開催を行っています。



③ 事業系生ごみの資源化

事業系生ごみの約50%の利活用をめざし、事業用の大きな建物等への立入調査により、飼料化、たい肥化などの民間生ごみ資源化施設へ誘導し、資源化をすすめています。

④ 食用油のリサイクル

家庭から出る使用済みの食用油を500mlのペットボトルに詰めて回収店舗に持ち込んでいただくと、バイオディーゼル燃料に精製し、ごみ収集車やバスの燃料としてリサイクルされます。



⑤ フードドライブ

家庭で消費しない食品をお持ちいただき、フードバンクを通じて、地域の福祉団体や施設、生活に困っている方などに届けています。集める食品には、未開封で賞味期限が1カ月以上あるなどの条件があります。

* 環境学習センターでは毎月8日から14日(休館日を除く)まで受け付けています。ただし、改修工事による休館のため、平成30年2月以降の受付を一時中止します。リニューアルオープン後、再開予定です。

⑥ 小型家電のリサイクル

総合スーパー、区役所に回収ボックスを設置し、携帯電話・パソコン・デジタルカメラ・ビデオカメラなどの回収品目で、概ね縦15cm×横40cm×奥行25cm以下のものを回収し、認定業者に引き渡し、有用金属等をリサイクルしています。

⑦ 事業系ごみの減量対策

事業系ごみの減量・資源化をすすめるために、一定の大きさ以上の事業用の大きな建物の所有者等にごみを減らす計画書の作成・提出、ごみの管理責任者を選んで、届出をしていただいています。

数年に1回立入調査をして、ごみや資源の処理状況の確認、調査を行い、ごみの減量・資源化への取り組みをすすめています。

⑧ 焼却灰の溶融処理等

本市処理施設で焼却灰などを溶融(高温で灰などを溶かす)処理しているほか、焼却灰などの一部を民間事業者へ委託して溶融処理しています。

溶融処理で発生する溶融スラグは道路の土木用資材などとして利用し、溶融メタルからは貴金属などを回収しています。

わたしたちにできること

- ・「なごやのごみ減量・資源化ガイド」などを見て、資源とごみを正しく分別する。
- ・マイバッグ、マイボトル、マイカップなどを使う。
- ・必要ないものは買わない、もらわない。
- ・いらなくなったものは譲り合う。



3館コラボ企画 伏見サイエンスエリアにいこう!

2月24日(土)、25日(日)は、エコパルなごや・名古屋市科学館・でんきの科学館の3館がコラボして、この期間だけの特別な実験ショー、ワークショップなどを行います。

エコパルなごやは名古屋市科学館・でんきの科学館で出張ワークショップを行うので、ぜひ遊びに来てください!!



ペットホルダー

日時 2月24日(土)・25日(日)
10:00～16:00(受付15:45まで)

会場 24日: でんきの科学館 サイエンステラス
25日: 名古屋市科学館 理工館3階 創造のひろば

対象 どなたでも **費用** 無料

内容 ペットボトルの底がかわいいキーホルダーに大変身!!
トースターの熱で色々な形に曲がります。
どんな形になるかは出来上がってからの楽しみ♪



マンスリー企画展示

テーマ

第12回環境絵画コンクール
入賞作品展示

出展者

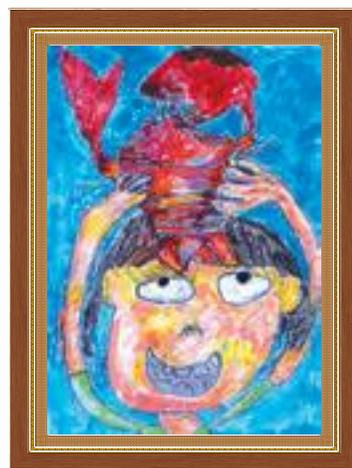
パナソニック エコシステムズ
株式会社

パナソニック エコシステムズ(株)では、子どもの頃から環境について考える習慣を身につけてもらうために小学生を対象とした環境絵画コンクールを開催しています。今回のテーマは「生きものといっしょ」。全国から応募頂いた729点の中から選ばれた優秀作品10点の展示を行います。子どもたちのすばらしいアイデアとメッセージをぜひご覧ください。

展示期間: 1月6日(土)～31日(水)



最優秀賞



社長賞





みんなで防災・減災を考え行動しよう！！～持続可能な社会づくりのために～ できることから始めよう、避難生活乗り切るための知恵

ライフラインが止まって物が充分手に入らない中で、身近にあるものを使って、避難生活ができるだけ快適に乗り切るための知恵と技を学びます。

また、名古屋市港防災センターでは震度7の地震体験や3Dシアター、煙避難体験などを通じて、災害時の対応を学びます。パパママ世代のみなさんにも役立つ情報満載です！

体験してくださった方には、役立つ防災グッズのプレゼント★



日時 2月17日（土）13:00～16:00

お申込・お問合せ先

会場 名古屋市港防災センター
(名古屋市港区港明一丁目12-20)

- ①お名前・フリガナ（グループの場合は全員分）
- ②参加講座／2月17日希望
- ③代表者様のお電話番号（日中ご連絡のとれる番号）
- ④代表者様のFAX番号（あれば）
- ⑤代表者様のメールアドレス
をご記入の上、メール、FAXで下記まで。

講師



浦野 愛氏
認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード
常務理事

受講料 無料

定員 60名

申込締切 2月7日（水）必着・抽選



「なごや環境大学」実行委員会事務局（エコパルなごや内）
〒460-0008

名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階

TEL&FAX：052-223-1223

E-mail：jimu@n-kd.jp

HP：http://www.n-kd.jp

休館のお知らせ

エコパルなごやは、改修工事のため
下記期間休館となります。

平成30年2月10日（土）
～平成30年5月上旬（予定）

※リニューアルオープンの日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

ご迷惑をおかけしますが、
よろしくお願いたします。
新しくなったエコパルなごやにも、
ぜひ遊びに来てください♪



エコパルなごやのメールマガジン 「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力するとメールマガジンが届くようになります。

エコパルなごや

登録



名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階

地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩5分

■開館時間／午前9時30分～午後5時 ■入館料／無料

■休館日／毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日
年末年始 12月29日～1月3日
2月10日～5月上旬（予定）

申込・問合せ先 TEL：052-223-1066 FAX：052-223-4199

<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>

E-mail：a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

この情報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

